

校友会 史跡クラブ 行程表

日程 12月7日(金) <<雨天決行>>
活動場所 東京都小金井市(殿ヶ谷戸庭園 ～ 江戸東京たてもの園)
集合時間 9時50分(時間厳守)
集合場所 JR中央線国分寺駅改札前

※ 今回の活動場所へは、部員の方それぞれ都合の良いルートが異なると思われるので、殿ヶ谷戸庭園最寄りのJR国分寺駅集合といたしました。

(例) 8:58川越市(徒歩)～本川越9:07～9:37東村山～9:49国分寺
8:56大宮～9:13武蔵浦和～9:43西国分寺～9:46国分寺

費用概算 入園料 ￥270

行程概要 (午前) 殿ヶ谷戸庭園散策(この時期は紅葉が楽しめます)
・JR国分寺 11:09 ～ JR武蔵小金井 11:12
・(バス) 武蔵小金井駅北口 11:23 ～ 小金井公園西口 11:30
(昼食) 江戸東京たてもの園内レストラン・カフェにて自由食
(午後) 江戸東京たてもの園 見学・散策(ここも紅葉が楽しめます)
・バスにて武蔵小金井駅に戻り、解散。(14時半～15時予定)

●殿ヶ谷戸庭園

東京都国分寺市にある都立の庭園で、平成23年に国指定の文化財(名勝)となっている。
大正2～4年(1913～15)に後の南満州鉄道副総裁・貴族院議員となる江口定條の別荘として造られ「随宜園」と名付けられた。昭和4年(1929)に三菱財閥の岩崎彦弥太が買取り、国分寺崖線と呼ばれる段丘崖と豊富な湧水を生かした回遊式林泉庭園として整備した。
昭和40年代の開発計画に対する住民運動が発端となり、昭和49年(1974)に都が買収し都立庭園として開園した。

●江戸東京たてもの園

平成5年(1993)に墨田区にある江戸東京博物館の分園として、以前にあった武蔵野郷土館を拡充し、失われていく江戸・東京の歴史的な建物を移築保存する目的で、小金井市に開園した。
園内は3つのゾーンに分かれ、江戸時代から昭和初期までの30棟の建造物が復元展示されている。

- ・西ゾーン(武蔵野の農家と山の手住宅) 常盤台写真館・三井八郎右衛門邸(三井財閥本家) 吉野家(江戸時代後期多摩郡野崎村の農家)・デラング邸他
- ・センターゾーン(格式のある歴史的建造物群) 皇居外苑にあった光華殿・3代将軍家光の側室自証院の霊屋・第20代総理大臣高橋是清邸他
- ・東ゾーン(下町の街並み) 小寺醤油店・台東区下谷の居酒屋「鍵屋」・足立区の宮造りの銭湯「子宝湯」・万世橋交番・神田神保町の荒物屋「丸二商店」他
- ・屋外に、旧都電車両やボンネットバス、正午を知らせる空砲(ドン)を撃っていた大砲等の展示がある。

※ 持ち物等歩きやすい靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ等
連絡先 丸田純一